

1、自己評価実施について

- 実施期間 2025年1月20日～2月7日
- 回答数 保護者評価 9（15家庭）
スタッフ自己評価 13（15人中）
- 回答数内訳 別紙

2、評価の分析

【保護者の評価】

○環境・体制整備について

生活空間について「欲を言えば古さが感じられるので、トイレなどももう少し明るい嬉しい」という意見があった。環境・体制についてわからないが2件、どちらともいえないが1件、他適正の評価。指導体制については評価されているが、施設面では古さ、物の多さなどへの改善の要望がある。

○適切な支援の提供

公表している支援プログラムと提供している支援内容の合致にたいしては「よくわからない」の評価。個別支援計画書の書式を変更したことの影響と思われる。長期保育対しては「多様な体験で助かる」の好意見も頂いている。

地域の子どものとの交流の機会に関しては、どちらともいえないが3件、交流活動で保護者は楽しかったとの評価もあるが、都合により参加できない家庭もあるので、実態がわからないためか。

○保護者への説明等

保護者同士の関係、兄弟同士の交流、共感的に支援をされていると思うかに対して「わからない」評価もある。一方、「直接 Tel で様子を知らせて頂き助かります」「手厚い支援・配慮、初めて受けたと感動しました」などの意見が寄せられ、必要なところに必要な支援というところは評価されている。

○非常時等の対応

防犯については、「よくわからない」という意見。マニュアル制作や訓練、支援に対し「わからない」が4件。マニュアル作成していて訓練の実施は予定表等に載せているが、周知の方法として十分ではないと思われる。

○満足度

「予定ややった事をよく話してくれます」「元は家族大好きな下の子は帰宅をしるぐらい楽しませていただいています」など満足度にかんしてはおおむね好評な意見

【スタッフ自己評価】

○環境・体制整備について

配置に対して「いいえ」の意見。「スタッフが多い」「曜日によって固定スタッフに負担が大きい」などの意見。生活空間、情報伝達では老朽化や伝達漏れなどの課題の意見。一対一、またチ

ーム全体での活動や見守る体制が工夫されている、など評価もある

○業務改善

「会議等で意見を基に改善しようとはしている」「研修は定期的に行っている」などの評価がある一方、スタッフへの周知不足や、「振り返りが出来ていない」「改善につながっているかはわからない」「保護者の意向を把握しきれていない」「対応の難しい意見に困惑」などの記述もある。

○適切な支援の提供

支援方針、日々の記録、ミーティング、チーム支援、具体的な支援内容等に対し、出来ていると思われるとの意見と、「わからない」「会議はしているが成果があるとは思えない」の二極化が見える。スタッフによってはシフトで不在の日もあるため、違いが出ているものと考えられる。

○関係機関や保護者との連携

「詳しくはわからない」「あまりない」「保護者と連絡が取れない時がある」「知れる立場にない」の記述。関係機関からの情報はミーティングなどで伝えているが、どこからの情報が含めて伝わっていないことが要因と考えられる。保護者との連携では、迎え時の引継ぎではスタッフと保護者が直接やり取りできるが、送迎の家庭とは機会が限られていることが要因と考えられる。好意見としては法人として地域の小学校との交流行事を実施、散歩やお出かけ時に地域の子と挨拶、一緒に遊べる工夫をしているなどの記述あり

○保護者への説明等

「入所時にやっている」「主に職員がやっている」「支援中の気づき等を積極的に共有」の記述。運営やサービス計画などの情報が必要と思われる案件の為「わからない」の評価も多い。個人情報の扱いに整理や施錠が必要との記述もある。

○非常時の対応

マニュアル制作に関しては主に法人で。「訓練は子どもたちとは行えている」の評価

「家族合同での避難訓練が行えると良い」「同じヒヤリハットが多いように思う」「検討をみんなですていない」などの評価。

3、改善目標

○保護者の評価に対して

- ・施設の改修と物を減らして掃除をしやすくするなどの様々な工夫が必要。トイレは、飾りなどで環境を変えていく。
 - ・HPでの支援プログラムの公表の周知、防災マニュアルもある。保護者会や面談で改めて周知。
 - ・親子行事を実施して、保護者同士、保護者とスタッフのコミュニケーションの機会を作る
- 全般的にやったら伝えるというコミュニケーションを意識していく事が必要

○スタッフ自己評価

直接的な記述にはないが、振り返りの中で複数のスタッフより、設問の意味自体がわからないという意見もあった。全体的に情報伝達に課題がある、報告、連絡、相談をしっかりと実施していくこと、日常的に支援について話し合える機会を増やしていくことで、集団で支援に取り組んでいける環境を整える。

ヒヤリハットに関しては、ロールプレイで勉強会をしていく。